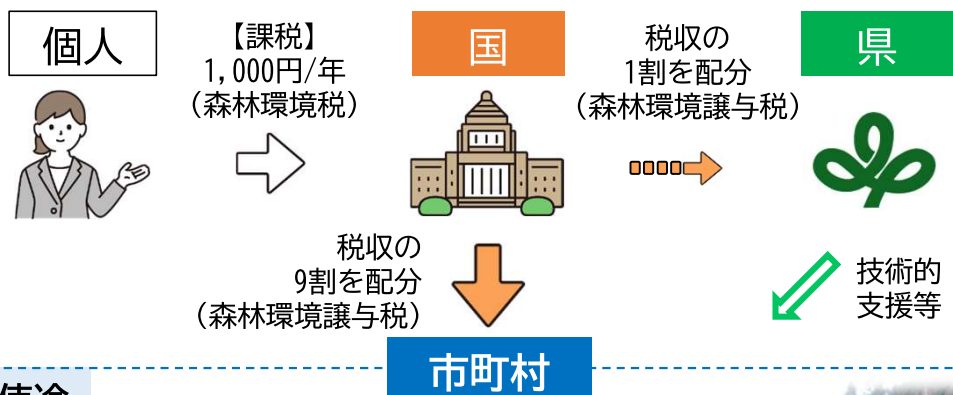


「森林環境税及び森林環境譲与税」と「みやぎ環境税」の概要



森林環境税及び森林環境譲与税

✓ 自然的条件が厳しく採算性が低いなどの理由で、所有者等による整備が行き届かなかった森林を、市町村が集約した上で整備し、管理していくための財源。



用途

- 所有者等による整備が行き届かなかった森林を、市町村が集約し整備
- 木材利用の促進
- 森林の公益的機能に関する普及啓発
- 森林整備を担う人材の育成・確保



森林環境譲与税とみやぎ環境税をそれぞれの目的に従って活用し、「森林の公益的機能の向上」を図る



土砂災害の防止



二酸化炭素吸収量の増加

みやぎ環境税

✓ 宮城の豊かな環境を適切に保全し、次の世代へ引き継いでいくことを目的として、地球温暖化等の喫緊の環境問題に対応するための財源。



用途

(1) メニュー選択型

✓ 地域の実情に応じて、市町村が次の7つのメニューから選択し実施

- 1 公共施設等におけるCO₂削減対策
- 2 照明のLED化
- 3 自然・海洋環境保全
- 4 野生鳥獣対策
- 5 環境緑化
- 6 再エネ・省エネ機器等導入支援
- 7 気候変動の影響への適応
- 8 一般廃棄物の発生抑制・再資源化促進等

(2) 市町村提案型

✓ 地域の課題解決に向けて、市町村が創意工夫し実施

※いずれも森林環境譲与税の用途に定められた取組（森林整備等）は対象外。

用途

✓ 次の5つの視点に該当する事業を実施

- 1 暮らしや経済活動の脱炭素化
 - 家庭・事業所における再生可能エネルギー設備等の導入支援
 - 再生可能エネルギーを活用した地域づくり支援
 - 次世代エネルギーの普及促進
- 2 森林の多面的機能の発揮に向けた管理や再造林の推進
 - 森林の公益的機能の維持・強化
 - 森林整備（間伐、作業道整備等）支援
 - 松くい被害地等の再生と保全
 - 森林資源の適切な循環利用
 - 確実な再造林に向けた支援
 - 県産木材の利用拡大に向けた支援
- 3 気候変動の影響への適応
- 4 生物多様性、自然環境の保全と活用
- 5 地域の脱炭素化を担う人材の育成

